

# 2020年度WLB推進交流会を開催しました

- ◇ 開催日 2020年11月28日(土)
- ◇ 会場 大分県看護研修会館 3階大研修室
- ◇ 参加人数 61名(29施設)  
(看護管理者 42名・看護職 2名・事務関係者 2名・委員・協会関係者)

## 講演

### 「働き方改革法改正で何が変わったのか」

医療労務管理相談室

医療労務管理アドバイザー 加嶋 慎介 氏



「働き方改革」でおこなうべき、

- ①労働時間の適正な把握(客観的な把握方法・労働時間とはどんな時間を示すのか)
- ②36協定の点検(時間外・休日労働は、36協定の締結が必要)
- ③時間外労働の上限規制(時間外労働の限度時間の管理方法)
- ④年次有給休暇の5日取得(年次有給管理簿の作成・付与方法)
- ⑤同一労働同一賃金への対応(勤務間インターバル制度の導入促進)について

医療現場での取り組み・考え方・ポイント等について、具体例を交えて講演いただきました。

※アンケートでは、理解できた・まあまあ理解できたが88%

## 実践報告

### 「コロナ禍における、働き続けられるための環境改善の取り組みについて」

- 黒木記念病院看護部長 阿部久美子 氏
- 村上記念病院看護部長 谷口 育子 氏



#### 【黒木記念病院】

2016年度から法人WLB推進プロジェクトを結成。職場環境向上委員会で検討、経営会議に提出し、実施・実行されている。コロナ禍における取り組みとしては、臨時感染対策委員会で2週間毎検討し発信。病棟管理体制の準備段階において、感染症指定病院の見学をし自施設マニュアルを作成。現場の声を聴き、学校臨時休校に伴い病院会議室の開放などの創意工夫、インフルエンザとの同時流行に向けての準備等の発表があった。

#### 【村上記念病院】

コロナ禍における病院としての組織立った取り組み。業務改善に向けた人事として、定年後の師長3名を看護職が働きやすい環境づくりを推進(業務改善・人材確保・育成)する為のアドバイザーに任命。透析室、病棟等の環境整備、入浴スタッフの熱中症対策(ペットボトル支給等)、3蜜回避の為休憩室の確保など職員への配慮や工夫が印象に残る報告だった。



※職員の安全を守るため、両病院の職場の工夫と対策の実践報告は、自施設の取組の参考になったと好評であった

※アンケートでは、役にたった・まあまあ役にたったが89%

## 交流会の感想

- 所属している病院で働き方改革について話は聞いていたが、本日の講義内容で「なぜ」それが必要かの意味がしっかり落とし込むことができた
- 講演については具体的な説明があり理解が深まった
- 同一労働・同一賃金については、しっかりと理解し説明ができるよう努めていきたいと思う
- 加嶋先生の話はわかりやすかった。改めてゆっくり聞きたい
- 実践報告については対策等参考になった
- コロナ禍における病院の取り組みでは、それぞれの病院で沢山の工夫をされており、参考にしたい点が多くあった
- よい学びができた。with コロナでどう運営していくべきか悩みは多い。両病院のお話はこれからの管理に大変役立つと思った
- 感染者受け入れ対応に努力している中、今回の話は非常に有効だった。励みになった
- COVID-19 対策ができており、安心して研修に参加することができた

## 推進交流会の様子

